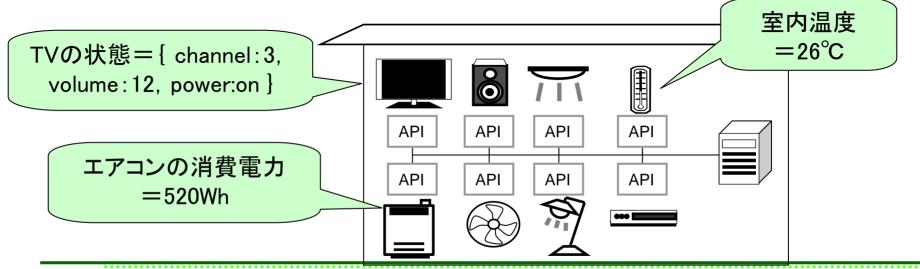
スマートシティにおける 大規模住宅ログを活用した サービスの検討

神戸大学 工学部 情報知能工学科 〇山本 晋太郎, 高橋 昂平, 大櫛 章裕, 柗本 真佑, 中村 匡秀 2012年6月11日電子情報通信学会SC研究会@国立情報学研究所



スマートシティとスマートホーム

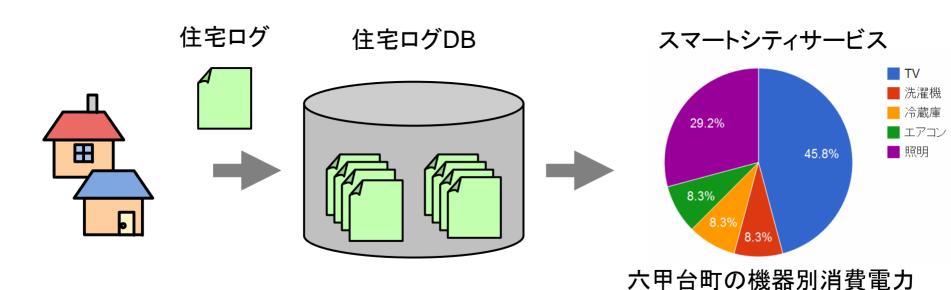
- スマートシティ: ICT技術を駆使し、生活インフラ全体の高度な効率化を目指した次世代都市
 - ◆エネルギーや交通などの生活インフラの効率改善
 - ◆生活の見える化、トレンド把握等の付加価値サービス創造
- スマートホーム: 家電やセンサをネットワークに接続したシステム
 - ◆ 宅内外からの機器操作, 複数機器の連携サービスなど
 - ◆ 宅内の機器や環境の情報(住宅ログ)を取得できる





住宅ログを活用したスマートシティサービス

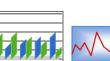
■ 住宅ログ活用の流れ











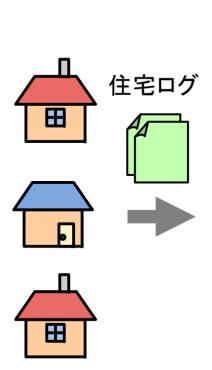


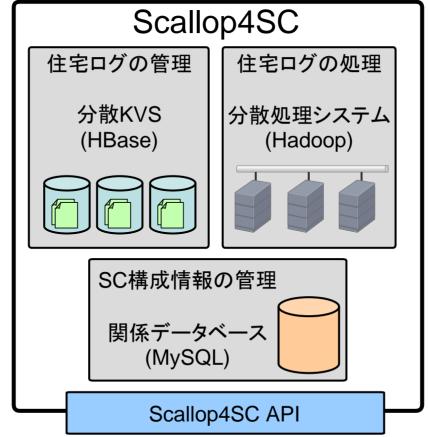


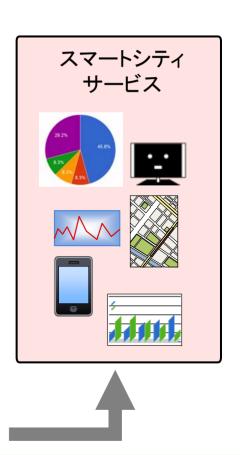


先行研究[1]: Scallop4SC

■ Scalable Logging Platform for Smart City: 大規模住宅ログを活用するためのスマートシティサービスプラットフォーム



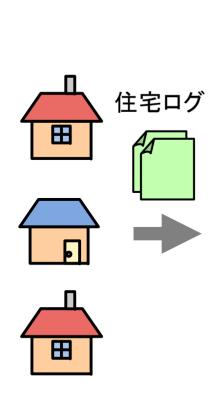


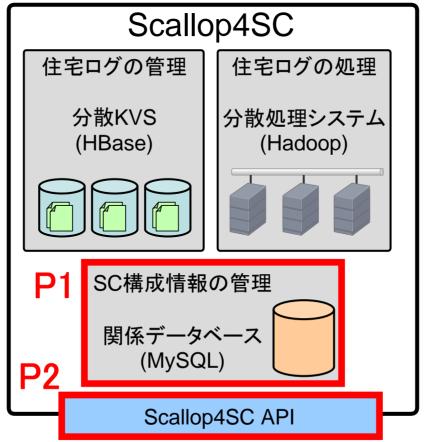


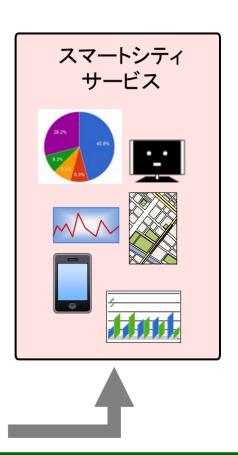


課題

- P1:スマートシティ構成情報のデータ設計
 - ◆ SC構成情報:スマートシティ全体の構成に関する静的なデータ
- P2:Scallop4SC APIの設計









目的とアプローチ

- ■目的
 - ◆ 住宅ログを活用したスマートシティサービスのための
 - SC構成情報のデータ設計
 - Scallop4SC APIの設計

■ アプローチ

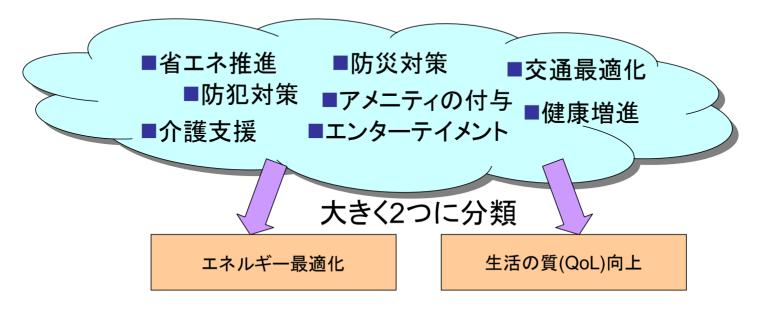
- 1. スマートシティで提供可能なサービス例を検討
- 2. 検討サービスに基づき、SC構成情報をデータ設計
- 3. 検討サービスの実現に必要となるScallop4SC APIの設計

住宅ログ

- エネルギーログ
 - ◆ 家庭内で利用されたエネルギーの消費履歴 電力=320W, ガス=30m³
- 機器ログ
 - ◆ 宅内の家電機器全般に関する状態履歴と操作履歴 TV={power:on, channel: 3, volume: 12} TV.setChannel(3)
- 環境ログ
 - ◆ 家庭内の環境状態に関するログ 温度=20°C, 照度=400Lux



住宅ログを活用したスマートシティサービス分野



- エネルギー最適化サービス
 - ◆省エネをはじめとするエネルギー削減はスマートシティの大きな目的⇒地球環境への貢献
- QoL(生活の質, Quality of Life)向上サービス
 - ◆ 都市の省エネだけでなく、住民が快適・便利に暮らせる都市を実現
 - ⇒地域住民への貢献



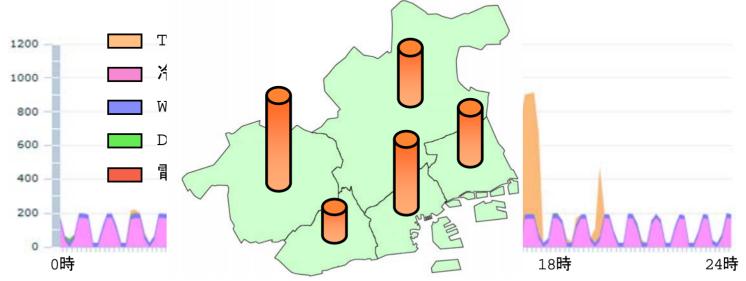
エネルギー最適化サービスの検討

- エネルギー
 - ◆ 電力, 水道, ガス・・・
- スマートシティでは、住宅ログとして各家庭のエネルギーログと 機器ログを取得している
 - ⇒住宅ログを活用してエネルギー最適化サービスが実現できる
- サービス例
 - ◆住宅内消費エネルギー見える化
 - ◆ 地域内消費エネルギー見える化
 - ◆ 電力消費量ピーク時間帯予測サービス
 - ◆住宅内機器最適稼働サービス
 - • •



サービス例:消費電力の見える化

- 住宅内消費エネルギー見える化
 - ◆機器別や時間別の消費電力量を見える化し、エネルギー消費に対する意識改善を狙う
- 地域内消費エネルギー見える化
 - ◆ 宅内だけではなく地域単位での消費電力の見える化
 - ◆ 地域コミュニティレベルでの意識改善



神序物の地域別消費電力

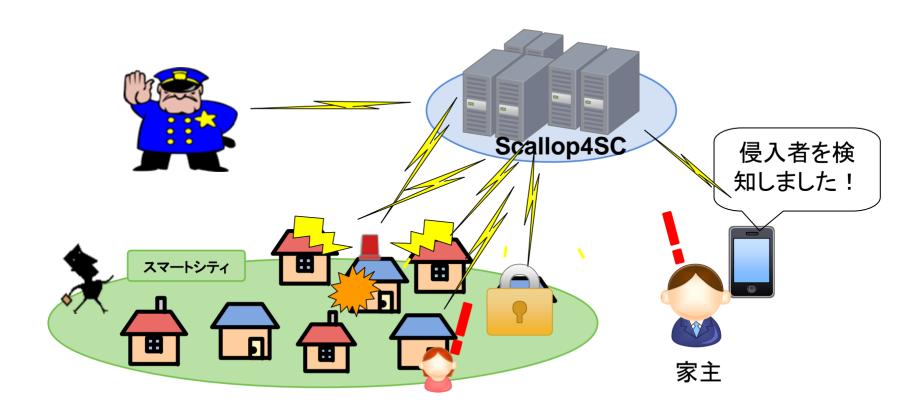


QoL向上サービスの検討

- QoL
 - ◆ 防犯, 防災, 交通, 健康, 介護支援, アメニティ, エンターテイメント
- スマートシティでは、住宅ログとして各家庭の機器ログと環境 ログを取得している
 - ⇒住宅ログを活用してQoL向上サービスが実現できる
- サービス例
 - ◆ 防犯: 侵入者検知&周知サービス
 - ◆ 防災:家電消し忘れによる火災防止サービス
 - ◆交通:混雑度通知サービス
 - ◆健康:•••

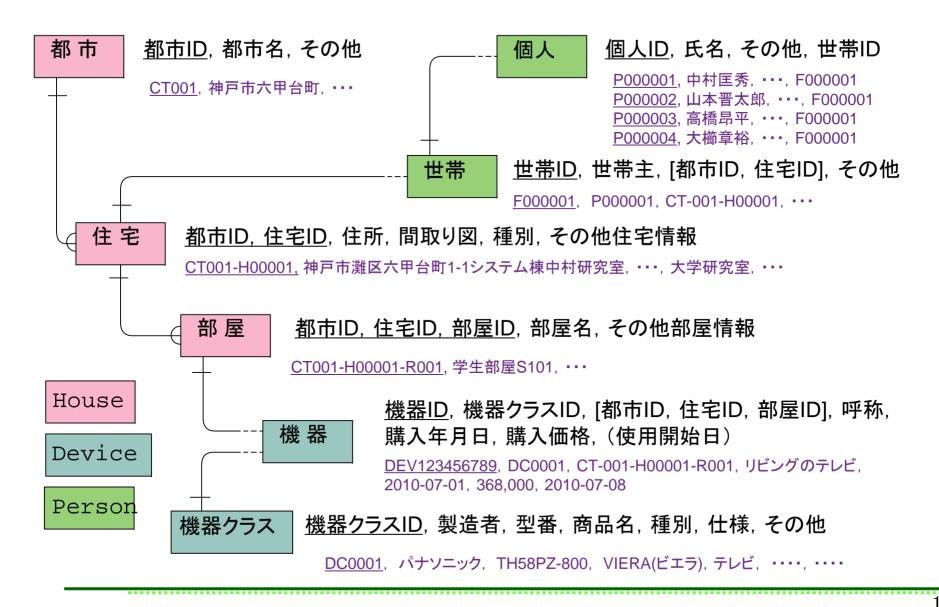
サービス例:侵入者検知&周知サービス

- センサによる侵入者の検知を、警備会社や警察、家主だけでなく周辺の住民にも通知する
- 自動施錠等の対応も行うことができる



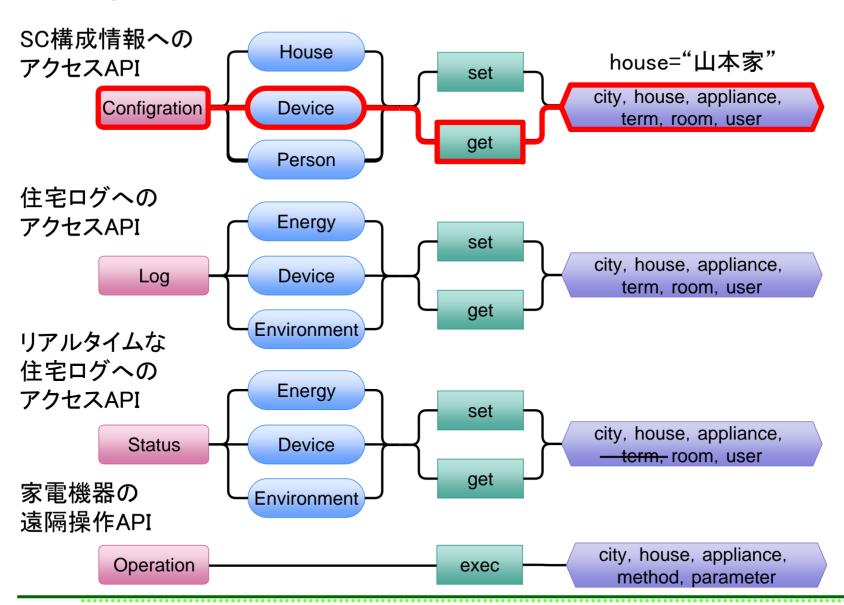


SC構成情報の検討結果





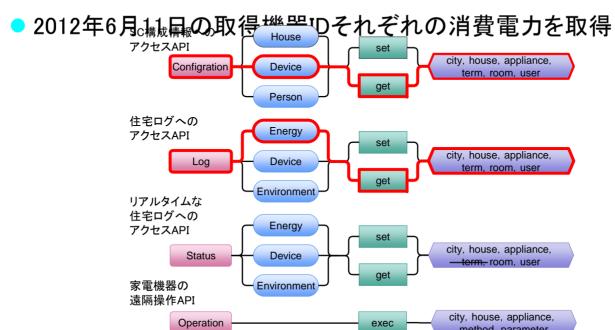
Scallop4SC APIの設計結果





検討サービスの実現方法1

- ■「地域内消費エネルギー見える化サービス」の場合
- 2つのScallop4SC APIで実現可能
 - ◆ Configration.Device.get(city="神戸市六甲台町")
 - 六甲台町内に存在する全ての機器IDを取得
 - ◆ Log.Energy.get(appliance="機器 ID",term="2012/06/11")



検討サービスの実現方法2

- ■「侵入者検知&周知サービス」の場合
- 4つのScallop4SC APIが必要
 - ◆ <u>Status.Environment.get(appliance="侵入者検知センサ</u> ID")
 - 侵入者を検知するセンサを監視
 - ◆ Configuration.House.get(city="神戸市六甲台町")
 - 侵入者を検知すると、その家の周辺(同一町内など)の家IDを取得
 - ◆ <u>Configuration.Device.get(house="家ID",</u> <u>appliance="通知用機器")</u>
 - 近隣住民の持つ通知用機器IDを取得
 - ◆ <u>Operation.exec(device="通知用機器ID",</u> <u>method="alarm")</u>
 - 近隣住民へ連絡する

まとめ

- 具体的なスマートシティサービス例を考案し、それに基づく データ設計・API設計を行った
 - ◆エネルギー最適化サービスとQoL向上サービスの検討
 - ◆ SC構成情報のデータ設計
 - ◆ Scallop4SC APIの設計

■今後の課題

- ◆ RDB上にスキーマ構築・webサービスなどの形でAPIを実装
- ◆ 具体的なスマートシティサービスの開発